

ふるさとの魅力再発見 にしわき散歩

1 唐子ツバキ (坂本)



▲西林寺境内の唐子ツバキ



▲県指定文化財の碑

西脇市の魅力、観光資源、史跡
伝統行事などをお伝えします。

唐子ツバキは、濃紅色一重でおしべが八重になって盛り上がるように咲く、非常に珍しいツバキです。花が咲いた様子は、唐子人形の髪を結った形に似ていることから「唐子咲き」と呼ばれています。

西林寺の唐子ツバキは樹齢200年以上。近隣でも唐子咲きでこれほどの古木を見ることはできず、昭和56年3月、兵庫県指定文化財(天然記念物)に指定されました。

唐子ツバキの見ごろは3月中旬から4月中旬にかけて。西脇公園でお花見の際には、ぜひ西林寺境内まで足を伸ばし、美しい唐子ツバキをご覧ください。



今月の旬菜レシピ

北はりま旬菜館の「旬野菜」を使ったレシピをお届けします。

イチゴ大福



【材 料】	(12個分)
イチゴ(小).....	12個
あんこ.....	500g
白玉粉.....	100g
砂糖.....	100g
水.....	180g
片栗粉.....	適量

【作り方】

- ① 水洗いしたイチゴの水分をよくふき取り、へたをとって、あんであんを包む。(お好みでしろあん、こしあん、つぶあんを選択)
- ② 白玉粉、砂糖、水を混ぜ、電子レンジ(500W)で約2分加熱する。
- ③ 電子レンジから取り出し、均一になるように混ぜ、再度約2分加熱し、取り出してもう一度よく練る。(おもちのようになるまで)
- ④ 片栗粉をひいたバットに③で作った生地をあける。
- ⑤ 12個分に生地を分け、①で作ったあんを包んで完成



たけのこ(孟宗竹)

孟宗竹の場合は形がずんぐりとした釣鐘型のもので、外皮は薄茶色でしっとりとして毛ばだち、先端は黄色く、切り口が白くてみずみずしいものがよいでしょう。根元の赤い粒々が小さくて少ないものほどやわらかいです。

西脇の自然

第481回

コウゾリナ(きく科)

西脇市動植物生態調査研究グループ



変わった名前ですが、茎などに剛毛があり、「顔刺菜」や「刺刀菜」から来ているようです。

よく目立つ黄色い花で、家の周辺や路傍など身近なところで時々見られます。タンポポと同じキク科で、花が終わると綿毛を出して遠くまで種子を飛ばして分布を広げます。

春に黄色い花を咲かせるものは、ノゲシ、ブタナなどたくさんありますが、剛毛があるのはコウゾリナだけなので区別できます。

「かみそり」をイメージすると名前が出てくるかもしれません。黄色い花を見つけたら、少し立ち止まって観察してみてください。